

運転表示部

運転状態を表示。
(図は冷房表示例。)

切/入ボタン

押すと運転。
もう一度押すと停止。

風量切換ボタン

押すたびに風量が変わる。
(☞15ページ)

風向設定ボタン

風向きを切り換える。
(☞17ページ)

温度ボタン

温度を変えるときに。
(☞15ページ)

時刻ボタン

時刻を合わせるときに。
(☞9・19ページ)

入タイマーボタン

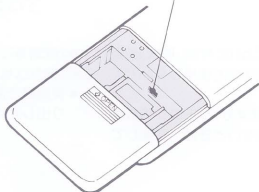
予約ボタン
タイマーを使うときに。
(☞19ページ)

裏ボタンをはずしたとき

リモコンB-Aスイッチ

Aの位置で使用します。

(ひと部屋に2台設置の場合、日にします。)
そのとき、本体内部での切り換えも必要ですので、販売店にご相談ください。

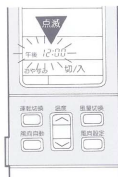
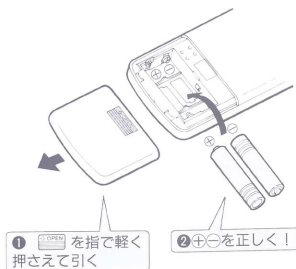


運転前の準備(リモコン)

乾電池を入れる

1

裏ボタンを開け、乾電池を入れ、裏ボタンを閉める



- 午後 12:00 の点滅を確認。
(表示が出ない場合は、乾電池をもう一度入れ直してください。)
- 点滅のままでは、電池の消もうが早くなります。続けて現在時刻を合わせましょう。



乾電池について

- 充電式電池 (Ni-Cd) は、寸法、形状、性能の一部が異なりますので使用しないでください。
- 約1年間使用できますが、リモコンの表示がうすいとき、出ないときは、交換してください。
- 2個同時に、新しい同種のものとは交換してください。
- 長期間ご使用にならないときは、全部取り出してください。

現在時刻を合わせる

2 とびらを開け
時計を押す





3 時刻を押し
現在時刻を合わせる



4 時計を押し
とびらを閉じる



乾電池を入れた後は
午後 12:00 が点滅。
時刻を変えるときは
午後か午前の文字が点滅。

-  を押すと時刻が進み、
 を押すと戻ります。
- 押し続けると早送りになります。

(午前または午後の
文字が点灯。)



現在時刻について

- 現在時刻を正しく合わせないと正しいタイマー運転ができません。
- タイマーの予約をすると現在時刻の表示は消えます。(☞18ページ)

運転前の準備(リモコン・本体)



リモコン

壁に付けると便利です。

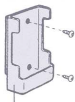
- 発信部は受信部(本体)に向けて。
- 受信できる距離は、直線で約10m。
- 信号をささげるものがないように。



付けかた

付ける位置で「切/入」ボタンを押し、本体から受信音がることを確かめてから

1 リモコン取付板をねじで止める



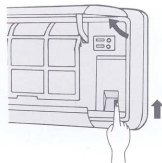


リモコン取付板

2 リモコンの取り付け



本体

- 1 電源プラグをコンセントに差し込む

 ゆるみのないように
- 2 前面パネルを開ける

 パネル横の突起部(左右2カ所)に指をかけて、手前に引き上げる
- 3 電源スイッチを「入」にする




こんなとき、電源スイッチを「切」に

● 長期間ご使用にならないとき
 「入」にしておくと、リモコンで停止しても、約4ワットの電力を消費します。

(さらに外気温が3°C以下のときは暖まりを早めるため、圧縮機予熱に約30ワットの電力を消費します。
 (タイマーランプ点灯中のみ。))

● 落雷のおそれがあるとき
 保護装置が内蔵されていますが、落雷の程度によっては、制御装置に影響が出る場合があります。

必ずお守りください

特に注意して いただきたい内容です。操作の前に必ずお読みください。

- 吹出口・吸込口をふさがない



- 冷風を、長時間お肌に当てない



- 吹出口・吸込口に棒などを入れない



- 2時間に1~2回は換気を



- リモコンは大切に



- 電源コードはひっぱらない



- 他の目的に使わない



- 運転は次の条件で

条 件		条件以外で運転を続けると
暖房時	外気温度24℃以下	保護装置が働いて停止することがあります
冷房・ドライ時	設定温度20℃以上 湿度90%以下	吹出口などに露がつき、滴下することがあります